

国立医薬品食品衛生研究所 特別講演会（殿町#5）

医療現場の情報統合による臨床研究、地域住民 の健康の歴史を紡ぐデジタルコホートの取組



講師

川上 浩司 先生

京都大学大学院医学研究科

社会健康医学系専攻 薬剤疫学・臨床研究管理学 教授

(兼)学際融合教育研究推進センター 政策のための科学ユニット長

【講演要旨】

昨今、各種の診療情報由来のデータベースを用いた薬剤疫学研究、臨床疫学研究が実施されるようになっている。観察研究に用いられる資料としては、リアルワールドデータ(RWD)系と疾患登録(レジストリ)系とがある。このうち、RWDにおいては、診療報酬請求(レセプト)情報、調剤情報、DPC情報に加えて、我が国でも医療機関における電子カルテ由来の診療情報を統合したデータベースの構築もはじまっている。一方、日本では、母子保健法や学校保健安全法などに基づいて、自治体が各種の健康診断情報を所管しているが、これらのデータベース化の取組も開始され、ライフコースデータとして予防医療や難病理解、創薬などに大いに役立つ知見を得ることが期待されている。本講演では、これらの最新状況を紹介する。

【御略歴】

1997年筑波大学医学専門学群卒(医師免許)、2001年横浜市立大学大学院医学研究科頭頸部外科学卒(医学博士)。

米国連邦政府食品医薬品庁(FDA)生物製剤評価研究センター(CBER)にて細胞遺伝子治療部臨床試験審査官、研究官を歴任。

東京大学大学院医学系研究科客員助教授を経て、2006年に33歳で京都大学教授。2010年-2014年京都大学理事補、2011年より京都大学学際融合教育研究推進センター・政策のための科学ユニット長。慶應義塾大学医学部客員教授を兼務。原著論文は150報以上。

日時:2018. **10月4日(木)**

15:00~17:00 開場 14:30

会場: **国立医薬品食品衛生研究所
2階 共用会議室**

〒210-9501 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-26
<http://www.nihs.go.jp/index-j.html>

【お問い合わせ先】

国立医薬品食品衛生研究所 毒性部 高橋 祐次
電話:044-270-6636 メール:taquahashi@nihs.go.jp

